

2020年4月30日

各位

会社名 株式会社グローバルダイニング
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 耕造
 (コード番号7625 東証第二部)
 取締役
 問合せ先 最高財務責任者 中尾 慎太郎
 T E L 03 - 5469 - 3222

業績予想の修正及び役員報酬減額に関するお知らせ

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020年2月12日に公表いたしました2020年12月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。また、昨今の業績動向を踏まえ、役員報酬の減額を決定いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2020年12月期(連結)第2四半期(累計)業績予想の修正(2020年1月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,622	△31	△8	253	24.79
今回修正予想 (B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2019年12月期第2四半期)	4,683	△5	26	7	0.70

(2) 2020年12月期(連結)通期業績予想の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,540	29	76	204	19.96
今回修正予想 (B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2019年12月期)	9,610	40	96	△331	△32.40

(3) 修正の理由

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、各国政府による渡航制限や日本政府によるイベント等の自粛要請により、訪日客及び国内外食需要が激減した影響を受け、直近3月の月次売上高は、対前年同月比56.6%減(国内全店)となっており、本日別途開示しております2020年12月期第1四半期(2020年1月1日～3月31日)決算への影響も顕著に表れております。

加えて、2020年4月7日の7都府県に対する緊急事態宣言、その後の全国を対象とした緊急事態宣言を受けて当社の臨時休業店舗は拡大し、現時点で国内46店舗中22店舗(テイクアウト・デリバリー営業のみの3店舗を含む)、米国では行政等からの要請(店内飲食は禁止)で3月16日より2店舗全店が休業しております。商業施設内の店舗を中心として主力の大型店の大半が休業している状態にあ

り、4月の足元の状況は対前年同月比で80%以上の減少（国内全店）と3月実績よりも更に落ち込みが拡大している状況にあります。

不要不急の外出自粛要請は5月6日までとなっておりますが、現状では新型コロナウイルス感染症の拡大の収束が見えず、その影響を見通すことは極めて困難であるため、2020年2月12日に公表いたしました2020年12月期の第2四半期及び通期業績予想は一旦取り下げ未定とさせていただきます。

今後、業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

2. 役員報酬の減額について

昨今の当社を取り巻く厳しい経営環境下において、お客様・お取引先様より多大なご支援、ご協力をいただいておりますこと、並びに当社業績への影響を鑑み、下記の通り役員報酬の減額を決定しております。

(1) 減額の内容

代表取締役社長	月額報酬の50%を減額
取締役（監査等委員を除く）	月額報酬の20%を減額
監査等委員である取締役（社外を除く）	月額報酬の20%を自主返納

※なお、執行役員については一部手当を除く月額給与の15%の賃金減額、その他正社員については同4.8%~10%の賃金減額を労働者の同意の下で実施予定です。

(2) 対象期間

2020年4月分より当面の間

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上